

視力検査の方法

用意するもの

1. 視標：右の頁の輪をそれぞれ切り取り、20cm四方くらいの白い紙にはります。
(図1を参考にして下さい。)
2. 眼帯：ガーゼまたはティッシュペーパーを5cm位の大きさに折って、バンソウコウかセロハンテープで、のぞかれないようにしっかりとってはって下さい。
3. 距離を測るためのものさし、またはメジャー

検査の方法

1. 楽に本が読める程度の明るい部屋で行います。
2. 視力検査の練習をします。
 - ① 1mくらい離れて、大きい輪を見せます。両目を開けてします。
 - ② 切れ目の方向を指か手で示して答えさせます。また図2のような輪を厚紙で作ってお子さんに持たせ、輪の切れ目の向きを合わせる方法でも良いでしょう。
 - ③ 切れ目の方向は右、左、上、下の四方向とします。視標の向きを変える時は、必ず一度視標を隠してから変えて下さい。
 - ④ 1mくらいでできたら、2.5m (できるだけ正確に測って下さい) 離れて行って下さい。
 - ⑤ 両目を開けて、切れ目の方向を正しく答えられますか。
 - ⑥ 片目をかくす練習です。右目、左目をそれぞれ隠して答えさせて下さい。
3. 検査をします。
 - ① 小さい輪を使い、2.5mでします。
 - ② 両目で検査をします。上下左右の四方向を見せて、3方向以上正解したら見えたとします。
 - ③ 左目を隠して右目の検査をして下さい。見にくそうだったりいやがったりする時には、左目から検査して下さい。両目の時と同じように判定します。
 - ④ 続いて隠す目を変え、左(または右)の目を検査します。
4. 両目、右目、左目それぞれの検査結果をアンケート用紙に記入して、健診の時にご持参下さい。

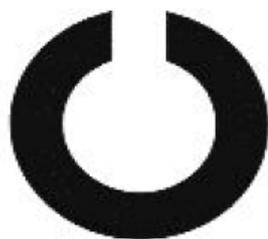
図1 視標の見せかた



図2 切れ目の答えかた



キリトリ



(2.5m用0.5と0.1の視標を正確に印刷すること。)

聴力検査の方法

【検査の時に注意すること】

なるべく外を自動車などが通っていない時をみはからい、テレビやラジオを消して、部屋を静かにしてゆったりとした状態で検査して下さい。

なお、検査の結果はアンケート用紙の項目の該当の枠内に 正しくできたものには○
誤っていたものには×を記入して下さい。

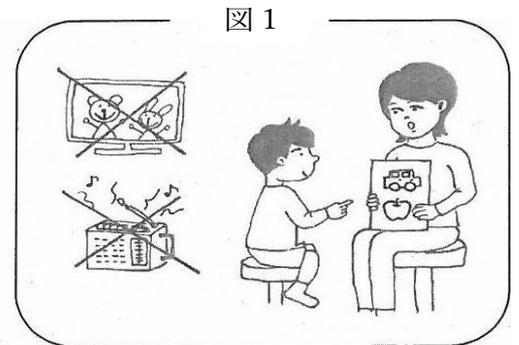
1. ささやき声による聞こえの検査 (図1)

(この検査は、かすかな声が聞きとれるかどうかの検査です。)

①絵を子どもの方向に向けて置き、1mくらい離れ、向かい合って座ります。

②「この絵の中の名前を言うから、ぴったりの絵を指さしてね。」と子どもに言って、普通の声(会話するときの声)で、絵シートの表示した絵の名前を言い、子どもが6個の絵をすべて正しく指させるようにします。

③「今度は小さな声で絵の名前を言うから、よく聞いて、指さしてね。」と子どもに言って、口元を見せないように手などで隠し、6個の絵の名前を、ささやき声で1回ずつ言います。正しく指せば○、正しく指せなければ×を記入します。



※注意事項

絵の名前を言うのは1回だけです。聞き返されても、繰り返し言わないでください。

また、ささやき声が大きくなるように注意してください。

※ささやき声の出し方

ささやき声は、息を出すだけの感じで、ないしょ話のようにささやきます。普通の声は、のど(のどぼとけ)に手をあてたとき、指に振動が感じられますが、ないしょ話のようにささやくと振動は感じません。

2. 指こすりによる検査 (図2)

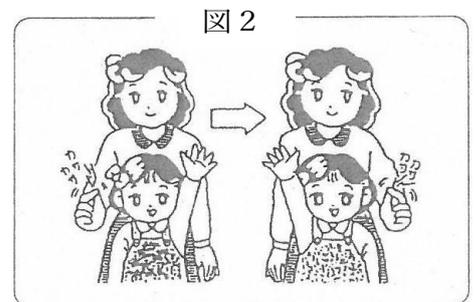
(この検査は、カサカサした音が聞こえるかどうかの検査です。)

①親は子どもの後ろに位置します。

②親は子どもの耳の真横に5cmぐらいのところ、親指と人さし指を5~6回こすります。

③子どもに「カサカサ」した音が聞こえたら、手を上げさせるようにします。

④最初は右、次に左というように、交互に行います。なお、検査を行う時には、指を十分に乾かしてから行って下さい。



絵シート

